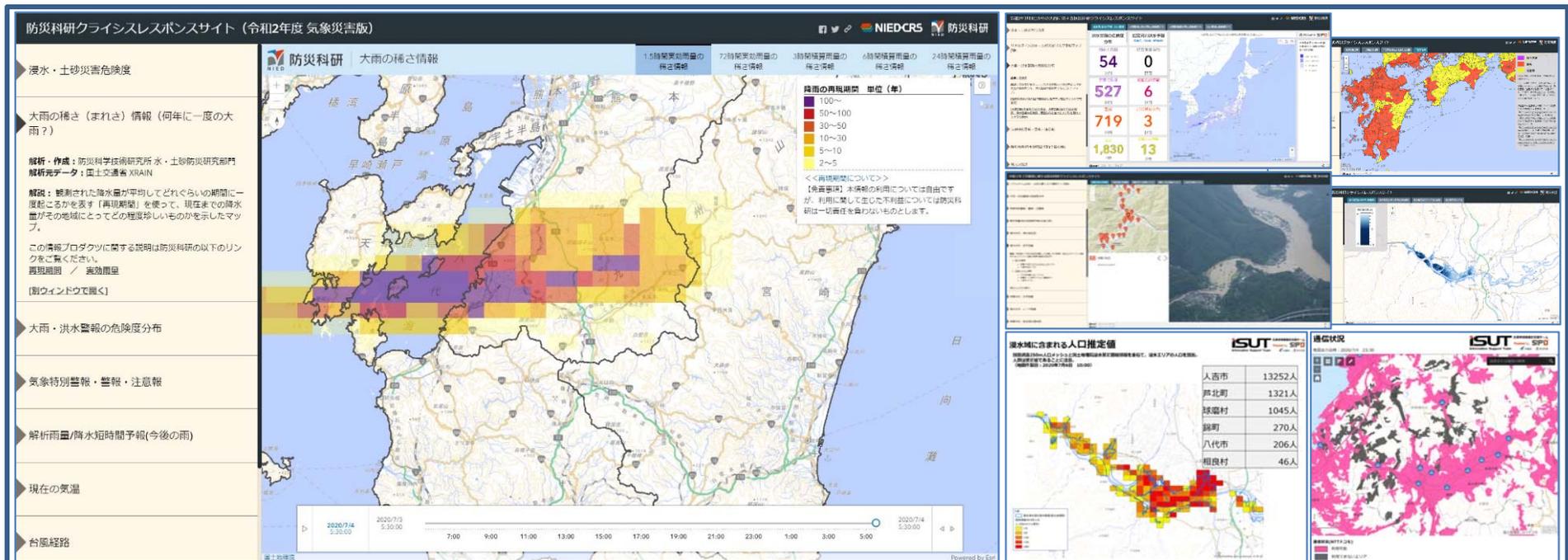


令和2年7月豪雨における  
戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）  
「国家レジリエンス（防災・減災）の強化」の  
研究開発技術活用実績について

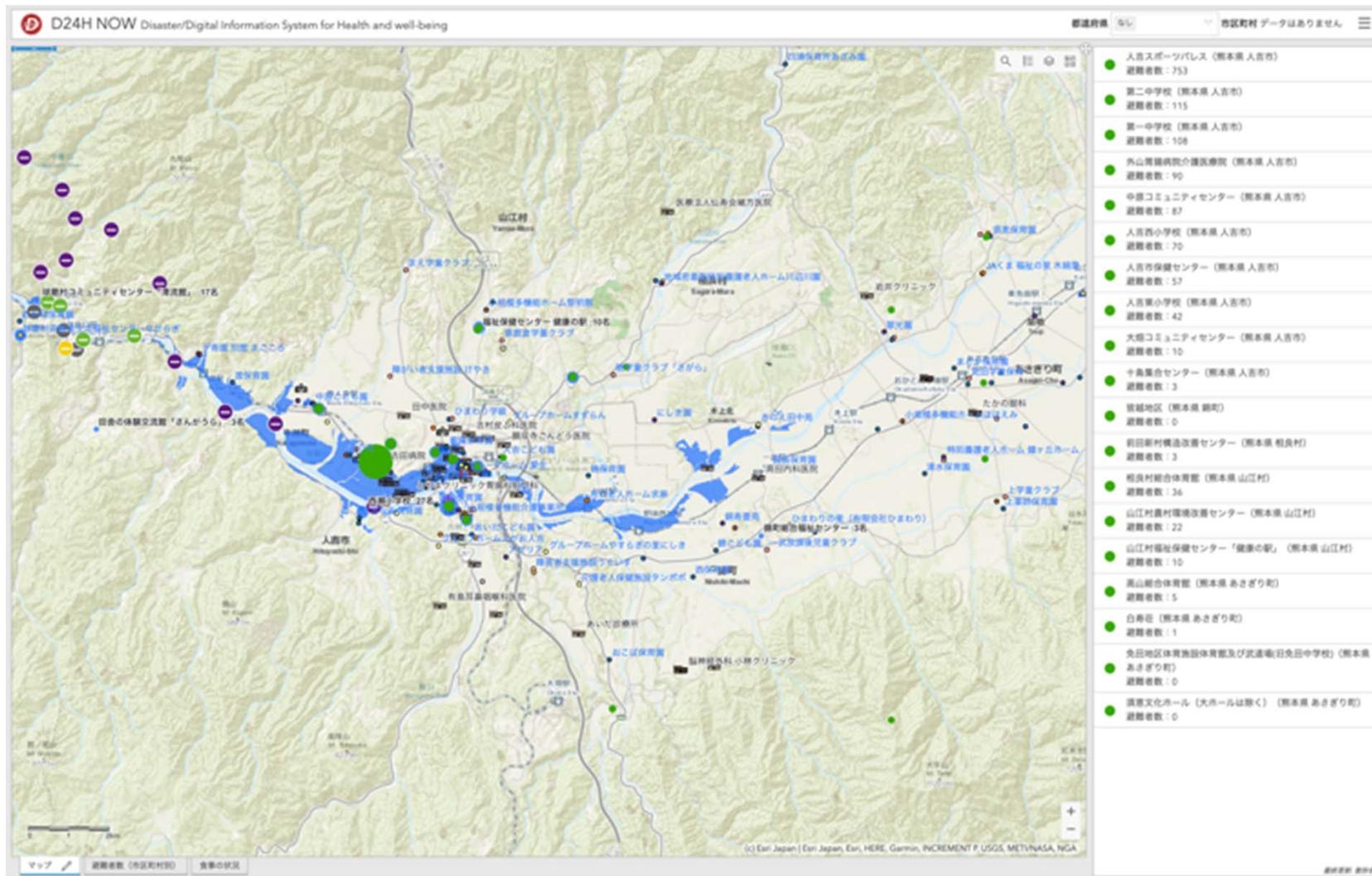
# ① SIP4D (基盤的防災情報流通ネットワーク)

- 刻一刻と変わる災害関連情報を災害対応機関間で共有
- 様々な状況の可視化により、被害状況の把握、ライフラインの復旧、孤立集落の解消などの支援に活用



# ②D24H (災害時保健医療福祉活動支援システム)

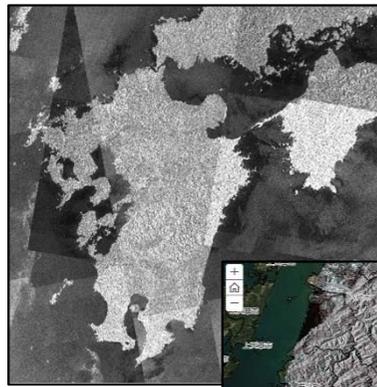
- 熊本県保健医療調整本部においてD24Hを使い、避難所、福祉施設、医療機関の情報やSIP4Dの情報を一元表示
- 保健医療調整本部、日赤チーム、DMAT及びDHEATなどの迅速な保健医療活動を支援



# ③衛星データ即時一元化・共有システム

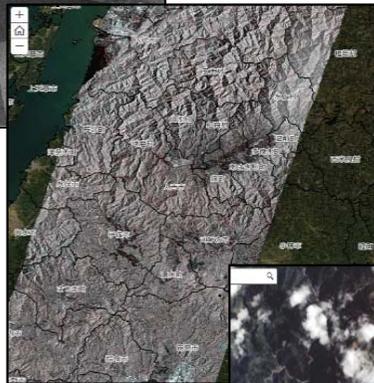
- 本システムを用いて、衛星データから浸水範囲の解析等を行い、府省庁等の災害対応機関へ提供
- 国際災害チャーター等の活用により、国内外17機の地球観測衛星と連携し、約120の解析結果を提供

## 一元化した衛星データ例



7月3日18時21分撮影  
九州・四国等  
衛星名：Sentinel-1

Copernicus Sentinel data (2020)



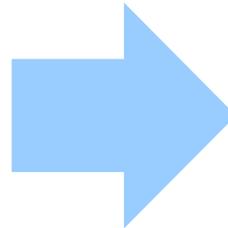
7月4日13時13分撮影  
鹿児島～熊本  
衛星名：だいち2号

©JAXA 背景写真:国土地理院

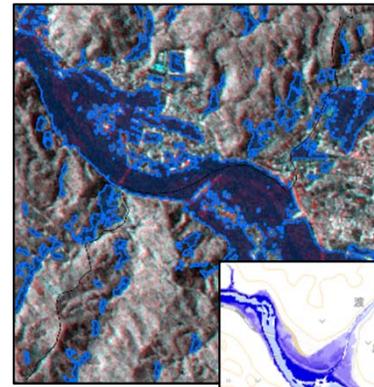


7月7日午前撮影  
球磨村付近  
衛星名：Dove

©2020 Planet. All rights reserved



## 解析結果例



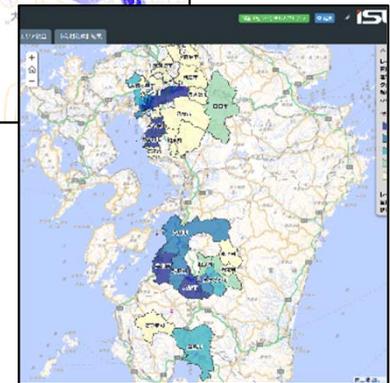
浸水範囲の推定  
(国際航業)

背景写真:JAXA



浸水した深さの推定 (山口大学)

背景地図:国土地理院

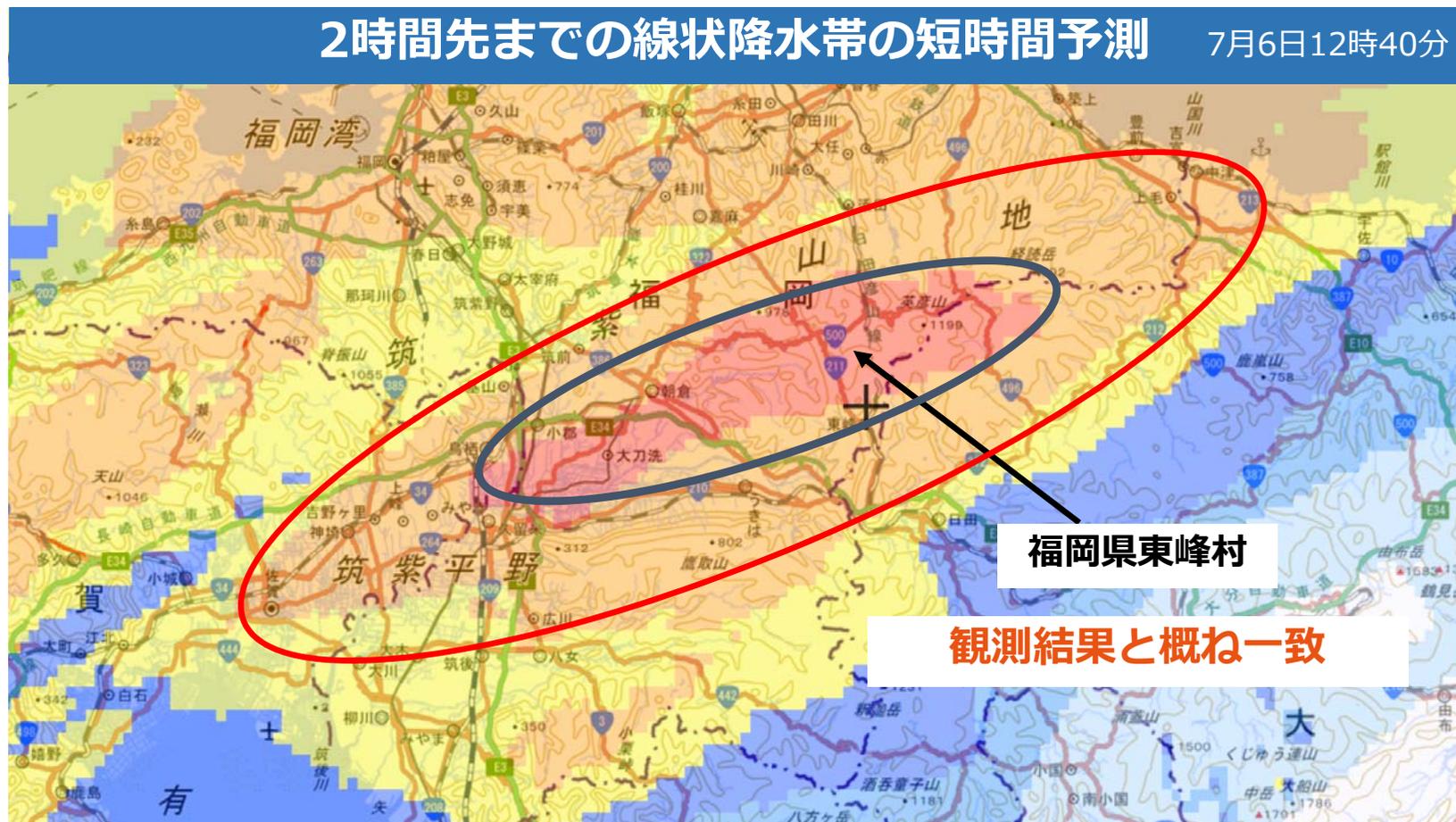


浸水した建物数の推計 (防災科研)

## ④線状降水帯観測・予測システム

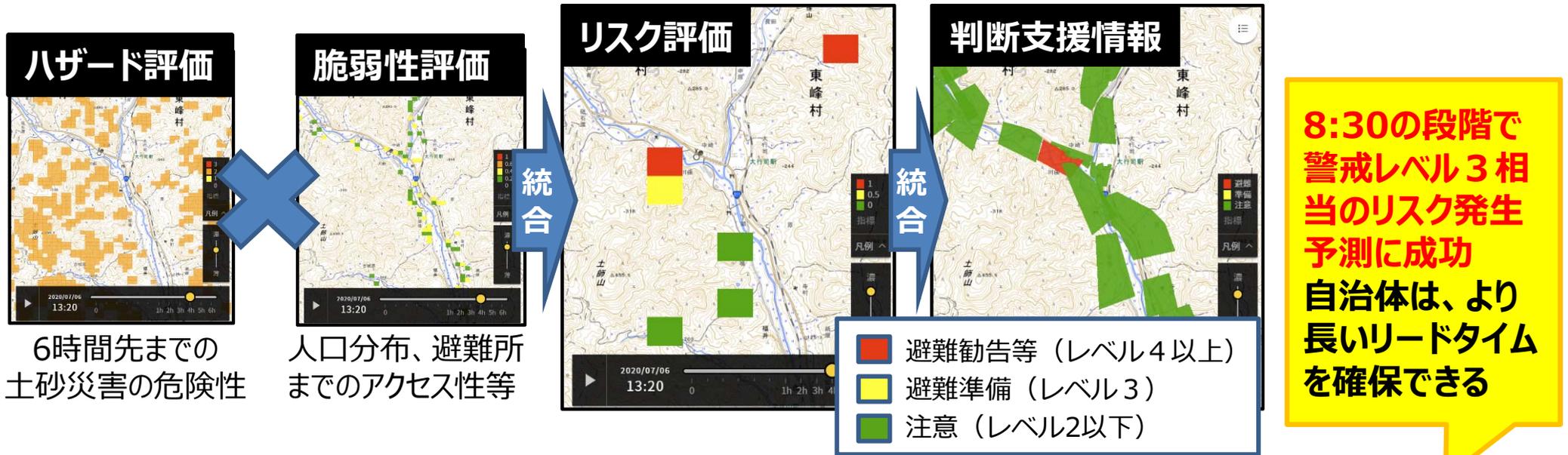
- 九州地方の9自治体 ※へ実証実験として試験配信を実施中
- 7月6日の豪雨では13時10分から発生した線状降水帯に対して、11時20分には2時間以内に線状降水帯発生を予測、12時40分には2時間以内に数十年に一度の大雨を予測して、福岡県東峰村へ避難判断をサポートする情報を提供

※ 北九州市，朝倉市，東峰村，日田市，うきは市，八女市，阿蘇市，熊本市，鹿児島市



# ⑤市町村災害対応統合システム

- 7月6日の九州北部での豪雨では、実証実験中の東峰村において、ハザード、脆弱性、それらの評価結果を統合したリスク評価、リスク評価に基づく発令区域ごとの避難判断支援情報を、6時間先まで予測して提供。



7/6 8:30 時点の予測	8:30 現在	1時間先 (9:30) 予測	2時間先 (10:30) 予測	3時間先 (11:30) 予測	4時間先 (12:30) 予測	5時間先 (13:30) 予測
リスク評価						
気象庁発表や自治体の状況			▼10:16 大雨警報 (レベル3)		▼12:00 避難準備情報発令	